

使命

わたしたちは人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する

信条

誠実と誇りを、すべての企業活動の原点とする
環境との調和をはかり、地域の信頼に生きる
利益を成長の源泉とし、その成果を社会と共に分かち合う
自らをつねに磨き、知恵と技術のさきがけとなる
豊かな個性と情熱をひとつにし、明日に挑戦する

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



Environment
Social
Governance

価値協創
ガイダンス

報告期間：2018年4月1日～2019年3月31日（報告期間以降の重要事項についても報告しています）

報告サイクル：1年

前回発行日：2018年8月31日

参考にしたガイドライン等：GRI／GRIスタンダード、経済産業省／価値協創ガイダンス、
IIRC／国際統合報告フレームワーク

将来見通しに関する注意事項：本誌に掲載されている計画、戦略、見込み等は、現在入手可能な情報に基づく当社の判断により作成されています。

従って、今後生ずるさまざまな要素の変化により異なる結果になり得る可能性があります。

金額等の表示について：金額および販売電力量については表示単位未満を切り捨てています。

その他の単位の数値は、特に注記のない場合、表示単位未満を四捨五入しています。

目次

2	J-POWERグループの沿革	35	E(環境)S(社会)G(ガバナンス)
4	社長メッセージ	36	環境
5	社長が語るJ-POWERグループの経営戦略	36	環境への取り組み
10	財務・非財務ハイライト	40	2019年度J-POWERグループ環境行動指針
12	J-POWERグループの価値創造プロセス	42	地球環境問題への取り組み
14	J-POWERグループの事業活動の全体像	44	透明性・信頼性への取り組み
16	中期経営計画の概要	45	環境データ
18	再生可能エネルギーのさらなる拡大	49	社会
20	石炭利用のゼロエミッション化への挑戦	49	人財の尊重
23	石炭火力を巡るシナリオと戦略	52	安全衛生管理
26	安全を大前提とした大間原子力計画の推進	54	社会への貢献
28	海外事業の拡大	56	ガバナンス
30	既設事業の価値最大化	56	コーポレート・ガバナンス
31	既設事業概況	60	役員一覧
31	1. 火力発電事業	62	特集 コーポレート・ガバナンスに関する対談
32	2. 送変電事業(託送)	66	コンプライアンス・リスクマネジメント
33	3. 電力周辺関連事業	70	危機管理
34	4. その他の事業	71	財務セクション/ファクトデータ
		72	連結財務諸表
		74	財務レビュー
		80	財務・事業ハイライト
		86	10ヵ年の連結財務データ
		96	10ヵ年の個別財務データ
		102	主要グループ会社一覧
		104	J-POWERグループ設備一覧
		107	会社概要・株式情報

編集方針

J-POWERグループは2017年度より、従来の財務情報を中心とした「アニュアルレポート」に、「CSRレポート」を統合しました。2019年度より、名称を「J-POWERグループ統合報告書」と改め、財務情報と非財務情報を体系的にまとめた統合報告書として発行することといたしました。統合報告書の制作にあたっては、GRIスタンダード、経済産業省の価値協創ガイダンス、IIRCの国際統合報告フレームワークなどのガイドラインを参考にし、当社グループの中長期的な成長ストーリーについてお示しするとともに、昨今関心の高まっているESGについての体系的な情報の開示を心がけました。株主や投資家の皆様をはじめとしたステークホルダーの方々に、当社についてのご理解を深めていただけるよう、今後も内容の一層の充実に努めていきます。